

職員研修 第1回未来授業研究会 観点別評価と学習指導案

令和4年6月22日（水）15:10～16:25

目標

新しい「観点別学習状況の評価」を趣旨を踏まえた学習評価と授業づくりの在り方を理解することで、授業評価・改善力と授業実践力の向上を図る。

内容

- (1) 「観点別学習状況の評価」の概要
- (2) 授業公開に向けて（3観点の学習指導案の作成）

コンピテンシー（資質・能力）ベースの授業とは？

コンピテンシー（資質・能力）ベースの授業

各単元において、身につけさせたい力（資質・能力）を明確にして、その評価や授業をデザインしていく。

ゴールイメージを明確にして、それが何で評価できるかを考え、その上で授業を組み立てる。

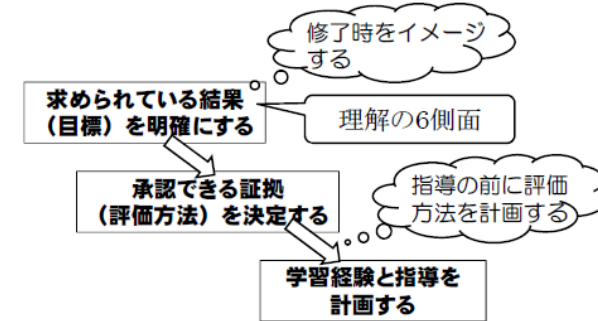


コンテンツ（内容）ベースの授業

教師の思いつく教えたい内容を次から次へと伝達していく。

AとBとC・・・を教えていくが、**その先にどんな力をつけていくのかが不明瞭。**

(2)「逆向き設計」



(Wiggins, G. & McTighe, J., *Understanding by Design*, ASCD, 1998/2005, G・ウィギンズ&J・マクタイ、西岡加名恵訳『理解をもたらすカリキュラム設計』日本標準、2012年)

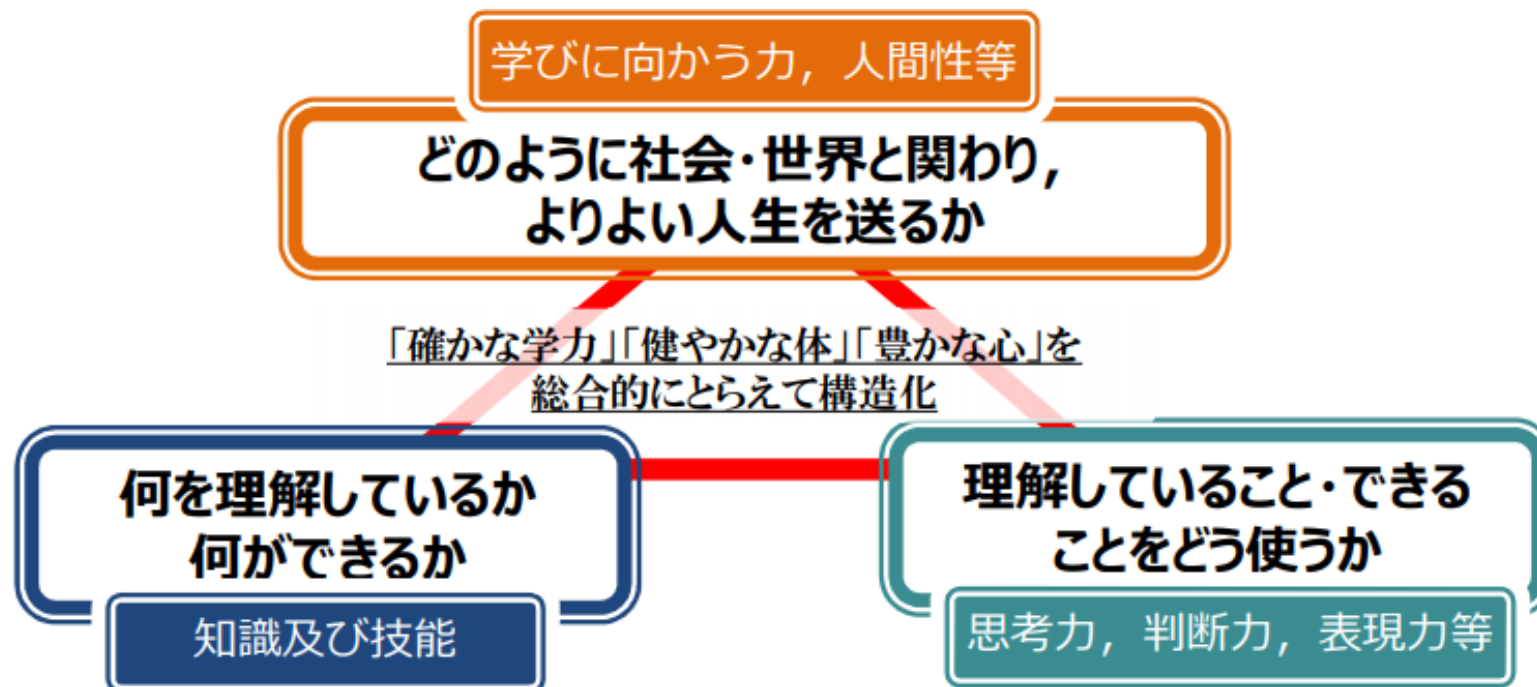
18

(1) 「観点別学習状況の評価」の概要

育成すべき資質・能力の三つの柱



学習する子供の視点に立ち、育成を目指す資質・能力の要素を三つの柱で整理。



【参考】学校教育法第30条第2項

生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、**基礎的な知識及び技能**を習得させるとともに、**これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力**をはぐくみ、**主体的に学習に取り組む態度**を養うことに、特に意を用いなければならない。

新学習指導要領における「目標」及び「内容」の構成



各教科等の「目標」「内容」の記述を、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の3つの柱で再整理。

目 標

平成21年改訂高等学校学習指導要領

国語

第1款 目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

平成30年改訂高等学校学習指導要領

国語

第1款 目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。【知識及び技能】
- (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

内 容

平成21年改訂高等学校学習指導要領

数学 I

2 内容

(3) 二次関数

二次関数とそのグラフについて理解し、二次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。

ア 二次関数とそのグラフ

事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。

イ 二次関数の値の変化

(ア) 二次関数の最大・最小

二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。

(イ) 二次方程式・二次不等式

二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。

平成30年改訂高等学校学習指導要領

数学 I

2 内容

(3) 二次関数

二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。【知識及び技能】

(ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。

(イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。

(ウ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、

た、

二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

【思考力、判断力、表現力等】

(ア) 二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。

(イ) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の21

学習指導要領（現行）

各教科の「内容」では、（指導事項）が羅列されている。

「知識・理解」「技能」「思考・判断・表現」の区別が不明瞭。



学習指導要領（新）

各教科の「目標」「内容」が3観点で整理

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」の区別が明瞭



「内容」に記載されている2観点をもとに、年間指導（評価）計画を作成。

【指導要録の参考様式における改善点】

高等学校における観点別学習状況の評価の更なる充実とその質を高めることが必要。

→ 指導要録の参考様式にも各教科・科目の観点別学習状況を記載する欄を設置。

<旧>

各教科・科目等		評定	修得単位数	備考
国語総合				
英語				
数学				
理科				
社会				
芸術				
体育				
家庭				
外国語				
職業				
総合				
その他				

<新>

各教科・科目等		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	備考
国語総合						
英語						
数学						
理科						
社会						
芸術						
体育						
家庭						
外国語						
職業						
総合						
その他						

第1学年

評定	修得単位数
5	2

第1学年

観点別 学習状況	評定	修得単位数
AAA	5	2

従来の評定、修得単位数に加えて「観点別学習状況」欄を新設

②指導要録

評定を3観点を踏まえて算出

例えば

AAA → 5
 ABB → 4
 BBB → 3
 BCC → 2

また、

AAC や CCA
 などは考えにくい

評定は、3観点の実現状況で算出する

(2) 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」と評価方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	ペーパーテスト (事実的な知識) (概念的な理解) 記述	ペーパーテスト (概念的な理解) 論述	
授業中 単元の終わり	小テスト	★パフォーマンス評価 論述やレポートの作成 発表、グループでの話し合い 作品の制作や表現	ノートやレポート等の記述 授業中の発言 生徒の個人評価 生徒同士の相互評価
外部の測定ツール (高校生のための学 びの基礎診断)	○	○	

- ①「知識・技能」「思考・判断・表現」は、学習指導要領の「2内容」(「指導事項」)に対応させる。
- ②「主体的に学習に取り組む態度」は、単元の学習における取組状況(粘り強さ・自己調整)。
- ③資質・能力の評価は、ペーパーテスト+パフォーマンス評価+その他を組み合わせた多面的・多角的な評価

現代文B 「世界をつくり替えるために」（小林康夫） 論述課題

〈課題〉

筆者の主張を100字以内でまとめた上で、自分なりの考えを200字～300字以内でまとめて論述せよ。

〈評価・ルーブリック〉

レベル	筆者の主張（要約）	自分なりの考え（意見）
S 大変すばらしい	学ぶことについて、筆者の主張（見解）とその根拠（理由）について、まとめられている。さらに、「心の中に『種』を宿しておく」ことについて触れられている。 10点	筆者の主張に関連づけて、自分なりの「学ぶこと」についての考え（意見）とその根拠（理由）について、まとめている。その際、自分の興味や関心のある分野について、具体的な記述がある。 10点
A すばらしい	学ぶことについて、筆者の主張（見解）とその根拠（理由）について、まとめられている。 8点	自分なりの「学ぶこと」についての考え（意見）とその根拠（理由）について、まとめている。そして、自分の興味や関心のある分野について、具体的な記述がある。 8点
B もう少し	学ぶことについて、筆者の主張（見解）はまとめられているが、その根拠（理由）については、明らかにされていない。 4点	自分なりの「学ぶこと」についての考え（意見）とその根拠（理由）について、まとめているが、具体的な記述が乏しい。 4点

パフォーマンス課題とは
知識や技能（スキル）を総合的に活用させることを求めるような複雑な課題



グループのメンバーの作成したレポートを「ルーブリック」に基づいて相互評価をしている様子

(補足) 各教科の年間指導 (評価) 計画作成のイメージ

新学習指導要領

1 目標

○○の見方・考え方を働かせ．．．．．資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 知識及び技能
- (2) 思考力・判断力・表現力等
- (3) 学びに向かう力、人間性等

2 内容

(1) 知識及び技能

- (ア) ○○○○○○○○○○○○すること。
- (イ) ○○○○○○○○○○○○すること。
- (ウ) ○○○○○○○○○○○○すること。
- (エ) ○○○○○○○○○○○○すること。
- (オ) ○○○○○○○○○○○○すること。

(2) 思考力・判断力・表現力等

- (ア) ○○○○○○○○○○○○すること。
- (イ) ○○○○○○○○○○○○すること。
- (ウ) ○○○○○○○○○○○○すること。
- (エ) ○○○○○○○○○○○○すること。
- (オ) ○○○○○○○○○○○○すること。

「2 内容」の「知識及び技能」と「思考力・判断力・表現力等」を組み合わせ、網羅的に年間指導計画に組み込んでいく。



各教科の年間指導（評価）計画作成のイメージ

単元ごと		学期ごと		学年末				
単元1	(ア) 知識・技能	1学期	知識・技能	学年末	知識・技能			
	(イ) 思考・判断・表現		思考・判断・表現					
	主体的に学習に取り組む態度		主体的に学習に取り組む態度					
単元2	(ウ) 知識・技能		2学期			知識・技能	学年末	思考・判断・表現
	(オ) 思考・判断・表現					思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度					主体的に学習に取り組む態度		
単元3	(オ) 知識・技能	3学期		知識・技能	学年末	主体的に学習に取り組む態度		
	(ア) 思考・判断・表現			思考・判断・表現				
	主体的に学習に取り組む態度			主体的に学習に取り組む態度				
単元4	(エ) 知識・技能		3学期	知識・技能			学年末	主体的に学習に取り組む態度
	(エ) 思考・判断・表現			思考・判断・表現				
	主体的に学習に取り組む態度			主体的に学習に取り組む態度				
単元5	(イ) 知識・技能	3学期		知識・技能	学年末	主体的に学習に取り組む態度		
	(ウ) 思考・判断・表現			思考・判断・表現				
	主体的に学習に取り組む態度			主体的に学習に取り組む態度				

各単元は、「内容」に記載されている「思考・判断・表現」の指導事項を中核に、その関連で「知識・技能」を組み合わせる。

★教科書はそのような構成になっているはず

なお、「学びに向かう力」その取組状況を単元毎に評価する。

3観点で評価 単元ごと→学期末ごと→学年末（評定）

「思考・判断・表現」を測るパフォーマンス評価は、各単元1～2回程度精選して実施

学習指導案の作成例（指導と評価の一体化、シンプルにまとめる）

〇〇科（科目名【新】〇〇【現】〇〇） 学習指導案（例）			
単元名		〇〇〇	
単元の目標 （単元で育成する資質・能力）		①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力、人間性等 S S Hで育成する資質・能力	
具体的な評価規準			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
（例）〇〇を理解している 〇〇することができる		（例）〇〇ことを通じて、考えたり判断したり表現したりしている。	（例）主体的に知識・技能を身に付けたり、思考・判断・表現をしようとしていたりしている
★上記の「単元の目標」を具体的な学習活動としてまとめる			
単元計画			
次	時	学習活動	評価規準と評価方法
一	1 2		【評価規準】 【評価方法】 （例）行動の観察
二	3 4 5		【評価規準】 【評価方法】
三	6 7		【評価規準】（主体的に学習に取り組む態度） 【評価方法】

1時間の授業展開については、任意で作成

別紙資料参照

学習指導要領の「指導事項」をコピー＆ペースト

別紙資料 1 参照

国語科（【新】論理国語 【現】現代文B） 学習指導案		
対象 2年普通科・理数科		
単元名	表現の特徴に注意して筆者の主張を的確に捉えよう 小林康夫「世界をつくり替えるために」『精選現代文B』（東京書籍）	
単元の目標 （単元で育成する資質・能力）	<p>① 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 （知識及び技能 言葉の特徴や使い方に関する事項 イ）</p> <p>② 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握すること。 （思考力・判断力・表現力等 B読むこと ア）</p> <p>③ 批判的思考力・協働的思考力・創造的思考力・課題発見力・科学的探究力・表現発信力（学びに向かう力・人間性等 SSHで育成する資質・能力）</p>	
具体的な評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「学ぶことの意味」を考える上で、論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「学ぶことの意味」を考える上で、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握している。	「学ぶことの意味」を考える上で、論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにし、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握しようとしている。 SSH（協働的思考力・表現発信力）

「単元の目標」を①目の前の生徒の実態、②使用する教材をもとに、単元を通して達成される具体的な生徒の姿・状態（ゴールイメージ）を明記する。

知識・技能	具体的な評 思考・判断・表現	規準
「学ぶことの意味」を考 える上で、論証したり学術的な 学習の基礎を学んだりする ために必要な語句の量を増 し、文章の中で使うことを通 して、語感を磨き語彙を豊か にしている。	「学ぶことの意味」を 考える上で、文章の種 類を踏まえて、内容や 構成、論理の展開など を的確に捉え、論点を 明確にしなが重要を 把握している。	主体的に学習に取り組む態度 「学ぶことの意味」を考える上で、論証し たり学術的な学習の基礎を学んだりする ために必要な語句の量を増し、文章の中 で使うことを通して、語感を磨き語彙を 豊かにし、文章の種類を踏まえて、内容 や構成、論理の展開などを的確に捉え、 論点を明確にしなが重要を把握しよ うとしている。

単元計画

次	時	学習活動	評価規準と評価方法
一	1	①「学ぶことの意味」について、自 分なりの考えをまとめ、グループで 話し合いをする。	【評価規準】「学ぶことの意味」を考 える上で、論証し たり学術的な学習の基礎を学んだりする ために必要な 語句の量を増し、文章の中で使うことを通 して、語感を 磨き語彙を豊かにしている。(知識・技能) 【評価方法】行動の観察
二	2 3 4	②本文の「構造」と「内容」を的 確に捉え、論点を明確にしなが 重要をまとめる。	【評価規準】「学ぶことの意味」を考 える上で、文章の 種類を踏まえて、内容や構成、論理の展 開などを的確 に捉え、論点を明確にしなが重要を把握 している。 (思考・判断・表現) 【評価方法】記述の確認
三	5 6 7	③「学ぶことの意味」について、 筆者の考え(100字程度)と自 分なりの考え(200字~300 字程度)を論述し、レポートをグ ループで「ルブリック」を用い て相互評価をする。 ④③の相互評価でリライトしたレ ポートを踏まえ、定期考査の課題 において論述する。	【評価規準】「学ぶことの意味」を考 える上で、論証し たり学術的な学習の基礎を学んだりする ために必要な 語句の量を増し、文章の中で使うことを通 して、語感 を磨き語彙を豊かにし、文章の種類を踏 まえて、内容 や構成、論理の展開などを的確に捉え、 論点を明確に しなが重要を把握しようとしている。 (主体的に学習 に取り組む態度・協働的思考力・表現発 信力) 【評価方法】行動の確認・記述の分析

これまでの1時間単位の指導
案ではなく、単元全体の中にそ
れぞれの教科が求めている「評
価の観点」【評価規準】が見え
るようする

脱本時主義・カリキュラム・
マネジメントの視点

【評価方法】は6つに分類

- ①観察・点検
行動の観察・記述の点検
- ②確認
行動の確認・記述の確認
- ③分析
行動の分析・記述の分析